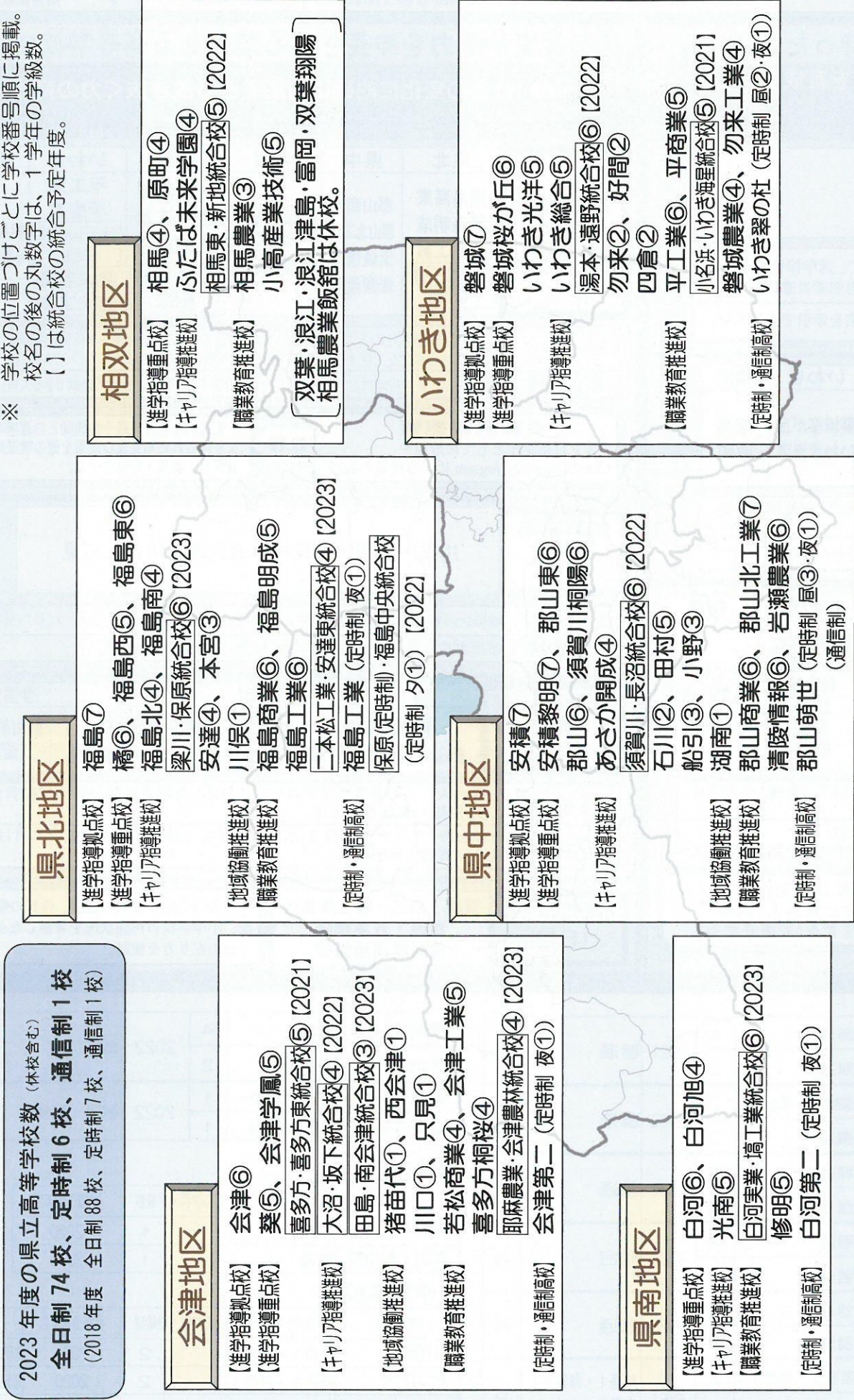


県立高等学校改革前期実施計画最終年度（2023年度）における各地区の高等学校の配置

※ 学校の位置づけごとに学校番号順に掲載。
校名の後の丸数字は、1学年の学級数。
〔 〕は統合校の統合予定年度。



2023年度の県立高等学校数（休校含む）
全日制 74校、定時制 6校、通信制 1校
（2018年度 全日制 88校、定時制 7校、通信制 1校）

～ふくしまの未来を切り拓く人づくりのための魅力ある県立高等学校を目指して～ 県立高等学校改革前期実施計画（2019～2023年度）の概要

2019年2月 福島県教育委員会

福島県教育委員会では、福島県学校教育審議会の答申を踏まえて、今後10年間の県立高等学校の在り方を示した県立高等学校改革基本計画を昨年5月に策定しました。それを受けて、この度、今後5年間の県立高等学校改革の具体的な方向性を示した**県立高等学校改革前期実施計画**を策定しました。

○ 計画策定の背景

1 少子化の進行 → 2017年3月の中学校卒業者に比べて、2028年3月には約5,300人減少

図1 2028年3月までの中学校卒業（見込）者数の推移



・2017年度から2028年度の間に県立高校全体で1学年当たり104学級程度の削減が必要です。（図1）

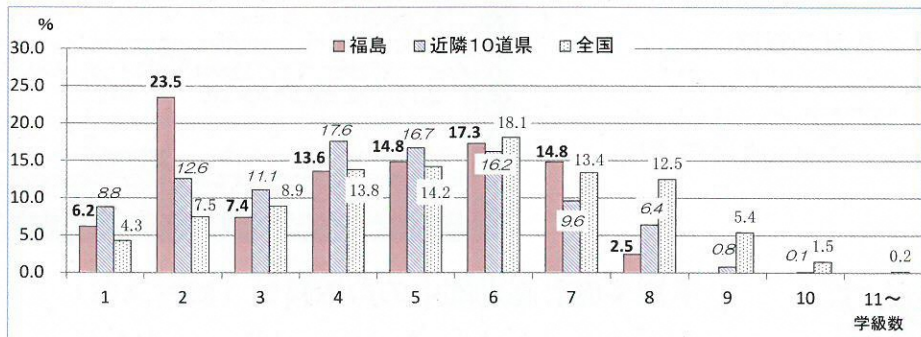
・既に、2018年度に15学級削減しており、今後、さらに89学級程度の削減が必要で、これは、1学年当たり4学級規模の学校、約22校の減に相当します。

<参考> 本県の小・中学校数の状況
(H20) → (H30)
小学校 512校 → 436校 ▲76校
中学校 238校 → 218校 ▲20校

出典・2017年(平成29年)までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計(学校基本調査報告書)」から作成。
・2018年(平成30年)3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
・2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口(2017年4月1日現在)の各年齢別のデータをもとに作成。

2 県立高等学校の小規模校化 → 1学年3学級以下の学校が37.1%（全国平均20.7%）

図2 1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



・東日本大震災の影響から、これまでは基本的に学校数を維持したままで、学級数を減じてきました。

・その結果、高校の小規模化が進み、1学年3学級以下の小規模校は、全国平均に比べて高い割合になっており、特に、1学年当たり2学級規模の学校は23.5%と、全国平均7.5%に比べて非常に高い割合となっています。（図2）

出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。
分校を含む2018年度(平成30年度)都道府県立高等学校全日課程の募集定員。
近隣10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

3 本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き → 学習指導要領の改訂や高大接続改革、東日本大震災・原子力災害からの復興・再生など

○ 県立高等学校改革計画のスケジュール



すべての県立高校で改革に取り組みます

基本計画の基本方針を踏まえて、本県の県立高校全体の質的向上に向けた取組と、社会の変化に対応した魅力ある教育環境づくりのための取組を示しました。

本県の高等学校を取り巻く状況が大きく変化中、統合などの再編整備のない学校も含めて、県立高等学校全体で改革を推進していきます。

県立高校の特色化を推進します

これからの高校に求められるミッション（使命）や育てたい生徒像を改めて整理し、すべての県立高校を6つの学校群のいずれかに位置づけ、各校の特色化を推進していきます（右図参照）。

検討する特色化の例：

- 進学指導拠点校への単位制の導入
- 普通科への新たなコース制導入の検討
- 職業系専門学科の充実
福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成の取組成果の共有、大学や地域企業等との連携を強化。
- 定時制における夕間部の導入
- 地域との連携を強化
地域協働推進校を中心に、コミュニティ・スクールを導入。
- 統合校における特色ある教育の推進
多様な進路希望を実現するコース制の導入。社会のニーズに対応した職業教育の充実。防災教育や自然環境など、地域の資源を活用した探究活動。

県立高校の再編整備を推進します

望ましい学校規模を1学年4～6学級として県立高校の統合を推進します。

2018年度全日制88校※、定時制・通信制8校が、前期実施計画最終年度の2023年度には、全日制74校※、定時制・通信制7校となる予定です。

※ 募集停止の小野・平田校と相馬農業・飯舘校及び双葉地区休校5校含む。
ただし、小野・平田校は、2018年度末に閉校。

県立高等学校改革前期実施計画のグランドデザイン

※ 前期実施計画最終年度(2023年度)の各校の位置づけなどを示す。
※ 四角囲み内の2校は、統合予定の高校である。

2019年2月
福島県教育委員会

本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくり・生徒の資質や能力を伸ばさせる魅力ある高等学校づくり

- 様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する教育活動の推進
 - 多様な学習内容の提供及び教育の質の向上
- 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力の育成

進学指導拠点校 (4校)
福島・安積・会津・磐城

ミッション 県内の学習指導、進学指導を牽引するリーダー校として、進学指導重点校との連携による教育力向上の推進。難関大学及び医学部志望者の進路実現。

育てたい生徒像 国内外で各分野のトップリーダーとして活躍する、未来を牽引できる人材。

進学指導重点校 (16校)

県北	県中	県南	会津	いわき	相双
橋 福島西 福島東	安積黎明 郡山東 郡山 須賀川桐陽	白河 白河旭	葵 会津学鳳 喜多方・喜多方東 統合校	磐城桜が丘 いわき光洋	相馬 原町

ミッション 授業の質の向上及び進学指導の充実と、進学指導拠点校との連携による、生徒の進路希望実現。

育てたい生徒像 各分野のリーダーとして活躍する、社会の発展に貢献できる人材。

キャリア指導推進校 (21校)

県北	県中	県南	会津	いわき	相双
福島北 福島南 梁川・保原 統合校 安達 本宮	あさか開成 須賀川・長沼 統合校 石川 田村 船引 小野	光南	大沼・坂下 統合校 田島・南会津 統合校	いわき総合 湯本・遠野 統合校 勿来 好間 四倉	ふたば未来学園 相馬東・新地 統合校

ミッション 生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実による、就職から大学進学までの進路希望実現。

育てたい生徒像 地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材。

ふたば未来学園
SGH指定校としての取組
や創造的復興教育の実践。

→ 対談

アクティブ・ラーニング及び探究的な学びの先進校として、成果を他校と共有し、具体的な手法や評価法などについて普及・発展させる。

職業教育推進校 (21校)

県北	県中	県南	会津	いわき	相双
福島商業 福島明成 福島工業 二本松工業・安達東 統合校	郡山商業 郡山北工業 清陵情報 岩瀬農業	白河実業・堀工業 統合校 修明	若松商業 会津工業 喜多方桐桜 耶麻農業・会津農林 統合校	平工業 平商業 小名浜・いわき理工 統合校 磐城農業 勿来工業	相馬農業 小高産業技術

ミッション 大学や地域企業等との連携による実践的な職業教育の充実と、企業への就職や職業系学部などへの大学進学を実現する、地域の産業振興や福島の復興を支える人づくりの推進。

育てたい生徒像 各分野のリーダーや地域産業を支える核として活躍する、社会の発展に貢献できる人材。

小高産業技術
SPH指定校としての取組や
Cross Training Program による授業の実践。

→ 普及・発展

先進的な教育実践や他機関との連携などにより得られた知見及び成果を他の職業高校と共有し、普及・発展させる。

地域協働推進校 (6校)
川俣・湖南・猪苗代・西会津・川口・只見

ミッション 地域との協働による教育活動の充実と、地域社会を支える人づくりの推進。

育てたい生徒像 地域創生の核となって活躍する、社会に貢献できる人材。

定時制・通信制高校 (7校)

定時制	通信制
福島工業(定)・保原(定)・福島中央統合校 郡山萌世(定)・白河第二・会津第二・いわき翠の杜	郡山萌世(通)

ミッション 生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育活動とキャリア教育による、生徒の進路希望実現。

育てたい生徒像 意欲を持って学習や学校生活に取り組み、主体性や社会性を身に付けた、社会に貢献できる人材。

相双地区休校等 (6校)
双葉・浪江・浪江津島校
富岡・双葉翔陽
相馬農業飯舘校

→

今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況を考慮しながら、今後の在り方を検討。

前期実施計画期間中の再編整備 (統合含む)

学校名	2018年度(H30)の学科 1学年当たりの学級数	実施予定 年度	再編の方向性 (学科・学級数)	
梁川	普通	2023	普通	6
保原	普通4・商業1			
二本松工業	工業	2023	工業3・家庭1	4
安達東	総合			
須賀川	普通4・商業1	2022	普通	6
長沼	普通			
白河実業	農業1・工業4・商業1	2023	統合及び工業科の集約 工業5・商業1	6
塙工業	工業			
修明	文理1・農業2・商業1	2023	農業科の集約 文理1・農業3・商業1	5

喜多方	普通	4	2021	普通	5
喜多方東	普通	2			
耶麻農業	農業1・家庭1	2	2023	農業	4
会津農林	農業	3			
大沼	普通	3	2022	普通	4
坂下	普通	2			
田島	普通	2	2023	総合	3
南会津	普通	2			
湯本	普通	6	2022	普通	6
遠野	普通	2			
小名浜	普通1・商業1	2	2021	普通1・商業1・ 水産3	5
いわき海星	水産	4			

相馬東	総合	4	2022	総合	5
新地	普通	2			
保原(定時制)	普通(定時制)	1	2022	普通(定時制)	1
福島中央	普通(定時制)	1			

募集停止

学校名	2018年度(H30)の学科・学級数	実施予定年度
安積・御館校	普通	1
修明・鮫川校	普通	1

1学級本校化

学校名	2018年度(H30)の学科・学級数	実施予定年度	方向性		
川俣	普通1・工業1	2	2020	普通	1
猪苗代	普通1・商業1	2	2020	普通	1
只見	普通	2	2020	普通	1